

6. 京都外国語大学・京都外国語短期大学

テーマ	京都外国語大学コミュニティ通訳の取り組みと今後の課題	
発表代表者	佐藤 晶子 京都外国語大学 外国語学部英米語学科	
連名発表者	河野 弘美 京都外国語短期大学 キャリア英語科 ラムスデン 多夏子 京都外国語大学外国語学部英米語学科	
キーワード	コミュニティ通訳	多文化共生社会
	公的サービス支援	
発表の概要	言語の障壁があるために行政、司法、医療、教育、社会福祉などの公的サービスを容易に利用できない外国人住民を支援する通訳を「コミュニティ通訳」という。京都外国語大学では、多文化共生社会の一翼を担う人材を育成するために、外国語学部では 2022 年度から「コミュニティ通訳特論 I」（半期）の授業を開始した。本学はこれまで通訳、翻訳を指導してきたが、「コミュニティ通訳」に特化した科目はなかった。2022 年度と 2023 年度は外国語学部の 3、4 年生が履修対象者で授業を進め、現在までに 44 名が本科目を履修している。本発表では「コミュニティ通訳とは何か」を含め、「コミュニティ通訳」を初めて学ぶ学生を対象とした授業の実践報告を行い、学生にとって本科目を履修する利点や教育者にとっての今後の課題を考察する。また、現在は AI を使った言語サポート機器が流行っているが、人間が対面形式で行うコミュニティ通訳の必要性を検討することを行う。	